

国際公共経済学会事務局  
112-8606 東京都文京区白山 5-28-20  
東洋大学経済学部松原聡研究室内  
HP <http://ciriec.com>  
Mail [japan@ciriec.com](mailto:japan@ciriec.com)

## 今号の目次

1. 7月12日(土)研究会のお知らせ
2. 学会賞の募集
3. 第29回研究大会[12月13日(土)~14日(日)関西学院大学]のお知らせ
4. 次世代研究部会・夏期合宿のお知らせ
5. 春季大会報告
6. 事務局より

## 1. 研究会のお知らせ

---

下記の通り、研究会を開催いたします。皆様のご参加をお誘いします。

日時：2014年7月12日(土) 15:30~17:30

場所：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス G号館 203号教室

(学内マップ [http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr\\_001086.html](http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_001086.html) 45番の建物)

内容：EUIJ Seminar

講師：Yveline Lecler (イブリン レクレル) 氏

リヨン大学政治学院教授 (Professeur Sciences Po Lyon)

リヨン東アジア研究所 (ENS Lyon / CNRS) 上席主任研究員

演題：Carsharing and e-mobility in cities: between private initiatives and public involvement,  
French and Japanese cases

\*報告は英語、質疑応答は日本語となります。

(研究会は国際公共経済学会と EU インスティテュート関西の共催で行われます)

## 2. 学会賞の募集

---

### (1) 奨励賞

12月の研究大会における大学院生(修士課程・博士課程)の発表について、数点に「奨励賞」を授与します。  
大学院生は、研究大会発表に際して、この賞への応募が前提になります。

奨励賞に応募される方は**8月31日(日)までに**、「奨励賞応募希望」と明記し、①奨励賞報告希望、②報告テーマ、③報告要旨(1,000字程度)、④氏名・所属・連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)を学会事務局宛([japan@ciriec.com](mailto:japan@ciriec.com))に電子メールでお送りください(書式自由)。

応募資格：大学院修士課程・博士課程及びそれに準ずる者

事前審査：2014年8月31日(日)までに1,000字程度の報告概要を提出

審査発表：2014年9月20日(土)までに事前審査による学会報告の可否を、本人に通知します。

提出論文：本会投稿規定・要領(ニューズレター掲載)による12,000字のフルペーパー3部

(9月20日に報告が認められた方のみ、論文を提出していただきます。

論文締切まで日数がないので早めにご用意ください)

論文締切：2014年10月12日（日）（消印有効、3部郵送。同時にメール、添付ファイルで提出）  
 郵送先：〒112-8606 文京区白山5-28-20 東洋大学経済学部松原聡研究室 国際公共経済学会事務局  
 メール：japan@ciriec.com  
 ※ 12月の大会で報告希望の大学院生は必ず奨励賞に応募してください。報告が認められた方は10月31日までに報告概要（4,000字程度）の提出もお願いいたします。

## (2) 学会賞・尾上賞

「学会賞」（若手の著作）、「尾上賞」（実績のある研究者の業績、学会活動への貢献）の応募を募集します。  
 対象期間：2013年7月1日～2014年6月30日までに公刊された会員による著書等  
 締切：2014年9月30日（火）  
 郵送先：〒112-8606 文京区白山5-28-20 東洋大学経済学部松原聡研究室 国際公共経済学会事務局  
 ※ 応募に際して、推薦書（自薦・他薦）、著書等を1冊お送り下さい。

## (3) 修士論文賞

2014年度提出の修士論文が対象となります。募集等の詳しい内容は後日お知らせいたします。

# 3. 第29回研究大会 [12月13日（土）～14日（日） 関西学院大学] のお知らせ

実行委員長：野村宗訓（関西学院大学）

## (1) 大会テーマ『2025年の都市開発の未来と地域再生のフロンティア』

## (2) 大会開催要領

日程：2014年12月13日（土）～12月14日（日）  
 会場：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス G号館

## (3) 大会プログラム（案）〈最新の情報は学会HPをご参照ください〉

12月13日（土）

9:30～	受付（G-207）	
10:00～12:00	奨励賞報告（G-203・G-204・G-205）	
12:00～12:50	昼食 奨励賞審査委員会（G-208）・理事会（G-209）	
13:00～14:45	パネルディスカッションⅠ（G-201） 「震災復興を経た地域再生と行政機能」	パネルディスカッションⅡ（G-202） 「市民参画行政・オープンガバメントの在り方」
14:45～15:00	休憩	
15:00～15:15	会長挨拶・開催校挨拶	
15:15～17:15	欧州シンポジウム（G-201） 「雇用問題の日欧比較」	次世代研究部会（G-202） 「ソーシャルビジネスの将来」
17:30～	懇親会受付（関学会館風の間）	
17:45～	懇親会 学長挨拶	

12月14日（日）

9:30～	受付（G-207）	
10:00～12:00	一般報告（G-203・G-204・G-205）	
12:00～13:00	昼食	
13:00～15:00	パネルディスカッションⅢ（G-201） 「地域の魅力向上に向けたインフラ・観光政策」	パネルディスカッションⅣ（G-202） CIRIEC インターナショナル報告
15:00～17:00	総括パネルディスカッションⅤ（G-202） 「関西広域経済圏のインフラ開発」	
17:00～17:45	総会・表彰式（G-202）	

#### (4) 報告募集

第 29 回研究大会において、報告（自由論題）を希望される方は、**9月23日（火）までに**、「第 29 回大会報告希望」と明記し、①報告テーマ、②報告要旨（1,000 字程度）、③氏名・所属・連絡先（住所、電話、メールアドレス）を下記の学会事務局宛に電子メールでお送り下さい。（書式自由）

メー ル：japan@ciriec.com

大学院生（修士課程・博士課程）の報告については、上記の「2.学会賞の募集（1）奨励賞」をご参照下さい。

## 4. 次世代研究部会・夏期合宿のお知らせ

### CIRIEC 次世代研究部会サマースクール 2「熱海会議」

次世代研究部会では昨年、若手研究者による学術的研究成果の公表、交流を目的とした夏期合宿「西園寺会議」を開催、盛会となりました。本年度は下記の日程で「熱海会議」を開催いたします。若手研究者の報告枠等がありますので、積極的な参加をお待ちしております。

日 時：2014年9月13日（土）～14日（日）

会 場：東洋大学熱海研修センター（<http://www.toyo-atami.com/access.html>）

プログラム：9月13日（土）

15:00 集合

15:30 自己紹介（各自5分ずつ研究テーマと併せて）

16:30 基調講演

16:50 コメント

17:20 コメントへの応答

17:30 全体討論

19:00 懇親会

22:00 帰寮

22:00 エンドレス討論「研究者としての将来展望について」

9月14日（日）

10:00 個別研究報告・午前の部（各20分報告＋質疑10分）※

12:00 昼食（当日案内）

13:00 個別研究報告・午後の部

15:00 終了（退館）

※ 発表資料は各自用意のこと（20部程度）

参加費：調整中（4,000～5,000円程度になる予定です）

申込み：①参加のみの方：8月31日（日）までに氏名・所属・連絡先（TEL・メール）を記載の上、両日参加か否かをあわせて下記アドレスまでご連絡下さい。

②報告を希望される方：8月15日（金）までに上記の情報に加え、発表テーマおよびA4で1枚程度のサマリーを下記アドレスまでお送り下さい。なお、応募者多数で報告枠が埋まる場合等には選抜します。

メー ル：jisedai@ciriec.com

## 5. 春季大会報告

2014年3月9日（日）に東洋大学において第2回春季大会が開催されました（以下敬称略）。

### (1) 修士論文賞報告

修士論文賞受賞者の4名が報告し、伊尾木智子氏が最優秀賞を受賞しました。

浅野 鉄也（南山大学大学院）

『第一次地方分権改革と市町村の“自立”意識調査による市町村の実態への実証的アプローチ』

尊田美和子（東洋大学大学院）

『佐原広域交流拠点 PFI 事業の事例分析を通じた PPP による事業目的達成のための提案』

伊尾木智子（京都大学大学院地球環境学舎）

『産業連関分析を用いた地熱利用の経済的可能性に関する研究』

岡芹 裕輝（中央大学大学院）

『森林環境税の政策フレームワークとその変遷過程について』

## (2) 一般・若手報告

野村 実（立命館大学大学院）

『高齢社会における新たな公共交通としての DRT の役割』

西 一 弘（中央大学大学院）

『行政の透明化がもたらす効果の研究—官僚の内的動機と行動を踏まえて—』

吉岡 泰亮（立命館大学）

『日本における鉄道貨物取扱駅の分布と構造に関する基礎的研究』

山口 翔（名古屋学院大学）他

『視覚障害当事者の共同自炊型オンライン電子図書館実証実験によるアンケート調査の分析』

森 朋也（中央大学大学院）

『低地ラオス集落における協働関係と集落組織のネットワーク分析：ビエンチャン都サントン郡ナポ村の事例研究』

松原 真倫（慶應義塾大学大学院）

『政策ケーススタディの方法論』

石 綿 晃（東洋大学 PPP 研究センター・リサーチパートナー）

『自治体経営の視点から見た生活保護～特別区（不交付団体）を事例に～』

## (3) 公民連携特集セッション

蔵田 幸三（東洋大学 PPP 研究センター・リサーチパートナー）

『大規模災害時における官民連携による水平連携・後方支援スキームに関する一考察』

平井 光雄（東洋大学 PPP 研究センター・リサーチパートナー）

『商業・業務集積地区における公民連携による震災対策への取り組み』

藤木 秀明（東洋大学 PPP 研究センター・リサーチパートナー）

『民間資産を利活用した公民連携事業について』

鶴園 卓也（東洋大学 PPP 研究センター・リサーチパートナー）

『自治体の健康運動教室における ICT 活用』

## (4) 次世代政策 VOTE 2014（マニフェスト評価機構共催セッション）

政策提案のプレゼンテーションと、それを元にした議論が行われました。会場がそのやり取りを評価・投票し、松原真倫氏が優勝者となりました。

西田 亮介（立命館大学大学院先端総合学術研究科特別招聘准教授）

『事業型 NPO 法人への中小企業基本法に基づく中小企業支援施策の対象範囲拡大』

藤木 秀明（東洋大学 PPP 研究センター）

『生活困窮者対策のための地方自治体の情報共有の促進と活用、連携体制の構築』

岩出 和也（東洋大学大学院経済学研究科博士後期課程）

『現代の情報通信分野のユニバーサルサービスのあるべき姿』

松原 真倫（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程）

『新型地域活性化支援制度』

## (5) シンポジウム・特別講演（学会連携・震災プロジェクト共催セッション）

臼田裕一郎氏（防災科学技術研究所）の『防災研究の成果を地域防災の実践に生かすための取り組み』、柴山昌彦氏（衆議院議員）の特別講演が行われ、活発な議論が行われました。

## 6. 事務局より

### (1) 2014 年度個人会費請求

2014 年度（2013 年 12 月 1 日～2014 年 11 月 30 日）の個人会費 8,000 円（学生 4,000 円）をまだ納入されていない方は、至急入金をお願いいたします。

会費未納の会員は、学会誌受領、大会参加、連携団体会合の出席等、会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意ください。

### (2) 新入会員の紹介（2014 年 3 月 10 日以降）

一般会員 11 名（敬称略）

石川 准（静岡県立大学）

松原 洋子（立命館大学）

森澤 恵子（大阪市立大学名誉教授）

小野塚 亮（慶應義塾大学）

長塚 俊成（立教大学）

増田 勝紀（ピークスグローバルパートナーズ(株)）

小田 正規（青山学院大学）

朽尾 圭亮（船井総合研究所）

池田 敬二（大日本印刷(株)）

奥貫 麻紀（神戸親和女子大学）

前野 高章（日本大学）

学生会員 2 名（敬称略）

江 文 斌（東洋大学大学院）

土 井 直（日本大学経済学部博士後期課程）

退会届が出ている会員については、理事会に報告した後、お知らせします。

### (3) その他の主な行事

第 30 回 CIRIEC 国際大会

2014 年 10 月 29 日（水）～31 日（金） 於：アルゼンチン ブエノスアイレス

<http://www.ciriec-30congress.org/en/>

第 3 回春季大会

2015 年 3 月 7 日（土）～8 日（日） 於：山口県周南市市民会館（予定）

実行委員長：齊藤由里恵（徳山大学）

### お知らせ

国際公共経済学会事務局では、より広く学会の取り組みをお伝えするため、試験的に電子メールを通じたお知らせを開始いたしました。会員の皆様にご登録いただいているメールアドレス宛に、2014 年 2 月 20 日、6 月 6 日の 2 回にわたり、メールを送信しております。

メールが届いていない方は下記アドレスまでご連絡ください。また、本お知らせメールについてのお問い合わせ、ご要望も下記アドレスまでお願いいたします。

メー ル：japan@ciriec.com

## 学会賞規定、および執筆要領

### 国際公共経済学会奨励賞規定

- 1 (目的) 国際公共経済に関する、大学院修士課程・博士課程在籍者およびそれに準ずる者の学術的研究の奨励に資するため、国際公共経済学会奨励賞を設け、該当会員による優秀なる論文、学会報告を審査選定してこれに賞を授与する。
- 2 (表彰) 受賞は、毎年数点以内として、賞状と記念品を授与する。
- 3 (論文の応募資格) 学会員であり、且つ、大学院修士課程・博士課程在籍者およびそれに準ずる者。但し、教員との共同発表は、認めない。また、「準ずる者」の詳細については、理事会に於いて定める。なお、大学院生等の学会報告には、この賞への応募を必要とする。
- 4 (応募論文) 応募論文は、12,000字以内のフルペーパーとする。
- 5 (公募) 本賞は、毎年1月に公募を開始し8月31日に事前登録を締め切る。公募の詳細については、審査委員会において決定する。
- 6 (審査) 審査委員会は、応募論文を事前審査するとともに、学会報告の可否を決定する。また、学会報告のプレゼンテーションを審査し、論文審査と総合して受賞作を決定する。
- 7 (報告) 会員総会において審査委員長は、審査の経過を報告し、会長は対象作に賞を授与する。また、学会機関誌等でこれを公表する。

### 国際公共経済学会論文執筆要領

- (1) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード(5語程度)を日・英文で明記する。また、英文要旨(5行程度)を必ずつける。
- (2) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。
- (3) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。
- (4) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。
- (5) 注は文中の肩に(注1)のように記し、論文末尾にまとめる。
- (6) 章・節は、1、2、1)、2)、(1)、(2)の記号による。
- (7) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。
  - 著書(単独)の場合 執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ページ
  - 著書(複数)の場合 執筆者名、[出版年月]、「論文名」、編集者名、『書名』、出版社、引用ページ
  - 論文の場合 執筆者名、[出版年月]、「論文名」、『雑誌名』、巻号、引用ページ
- (8) 提出：事務局に郵送にて3部提出。
  - こちらから、概ね1週間以内に受領メールを出します。
  - 返信のない方は、事務局までお問い合わせください。

**\*学会に関する情報は、ホームページ (<http://ciriec.com>) にて随時更新しておりますので、ご参照ください。**

**\*学会への連絡は、メール ([japan@ciriec.com](mailto:japan@ciriec.com)) か郵送にてお願いいたします。**